

雅楽ってなに？

大阪狭山市立西小学校 6年生

■雅楽で使う楽器

雅楽でもちいる楽器の種類は多くありません。伝来の頃はたくさんの種類があったといわれていますが、こんにちでは以下のようになっています。

〈管楽器（吹物）〉 = 鳳笙 / 篳篥 / 龍笛 / 高麗笛 / 神楽笛

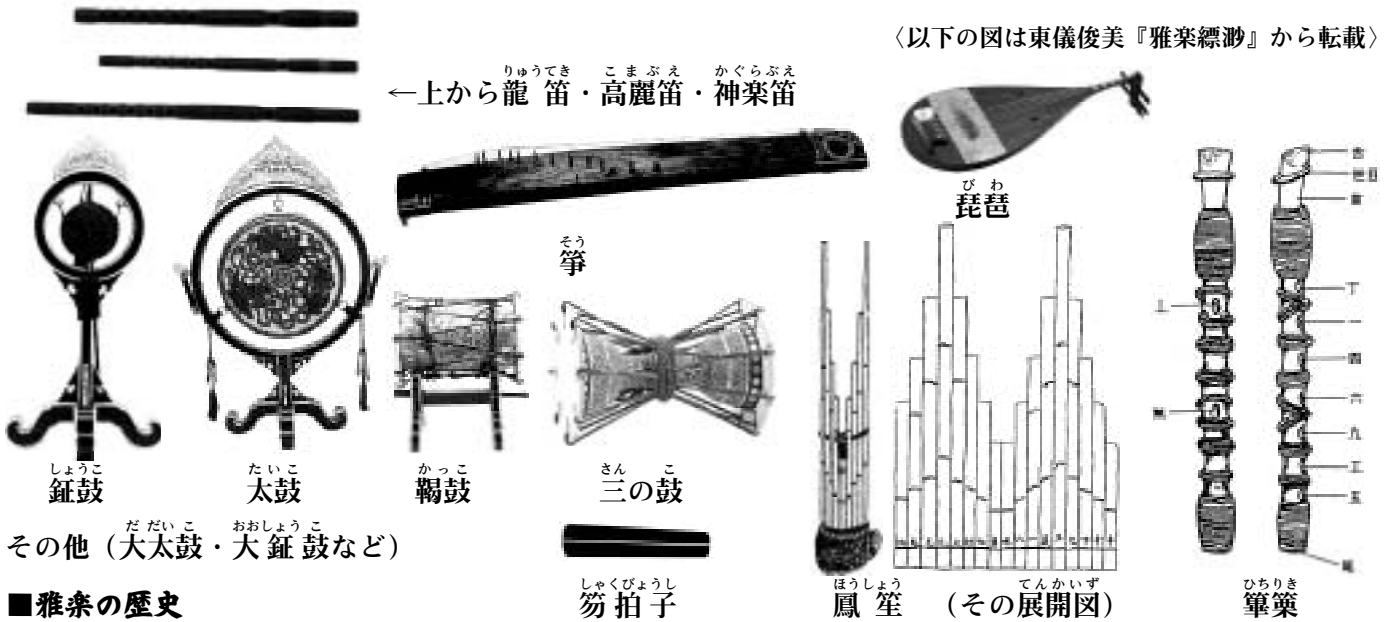
〈絃楽器（弾物）〉 = 箏 / 琵琶 / 和琴

〈打楽器（打物）〉 = 鞆鼓 / 太鼓 / 鉦鼓 / 三ノ鼓 / 笏拍子

《演奏形態》

- (1) 管絃（3管・3鼓・両絃）
- (2) 舞楽（3管・3鼓+舞）
- (3) 謡物（催馬楽・朗詠・神楽歌など）

〈以下の図は東儀俊美『雅楽縹渺』から転載〉



その他 (大太鼓・大鉦鼓など)

■雅楽の歴史

- 453年 允恭天皇崩御（天皇がなくなること）を悼み、新羅王、楽人80人を派遣（「日本書紀」）
- 538年 仏教伝来
- 592年 四天王寺創建。聖徳太子、雅楽・伎楽を奨励。
- 607年 法隆寺創建。この頃（7世紀）より、高麗・百済・新羅の音楽が入ってくる
- 701年 治部省に雅楽寮（うたまいのつかさ）設置
- 702年～ 遣唐使派遣 8世紀になると唐楽（中国の音楽）が入ってくる
- 736年 婆羅門僧正、仏哲が林邑八楽を伝える
- 752年 東大寺大仏開眼法要
- 794年 平安京遷都
- 810年 この頃になると、日本人の雅楽演奏名人が出てくるようになり、日本人による雅楽曲も作られる
- 840年 雅楽の国風化が本格的にはじまる（楽制改革・～990年）

ふるさと

作詞者不明

- 1, うさぎおいし かの山 こぶなつりし かの川
ゆめはいまも めぐりて わすれがたき ふるさと
- 2, いかにいます ちちはは つつがなしや ともがき
あめにかぜに つけても おもいずる ふるさと
(間奏・4小節)
- 3, ころもぎしを はたして いつのひにか かえらん
やまはあおき ふるさと みずはきよき ふるさと